

見附市指定管理者管理運営状況評価結果

令和5年7月3日に管理業務の評価を行った結果は下記のとおりでした。

施設名	道の駅パティオにいがた		
指定管理者	株式会社 豊栄わくわく広場	所管課	農林創生課
評価対象年度	令和4年度		
【所管課の総合評価】			
合計得点	73.6	評価ランク	B
所管課の講評			
コロナ禍における経済活動の変化に対応し、約104万人と多くの入場者を受け入れている。建物・設備の点検維持管理は適切に行われている。今年度は電気料高騰により前年比520万円の負担増となる中、レストランの惣菜販売の拡充や運営の経費削減策、甘味処六のテナント収入により昨年同等の黒字を出したことは評価に値する。令和5年度においても電気料高騰が続き、厳しい経営状況が続くが、入場者数は回復してきているので、売上増によりさらなる収支黒字を目指してもらいたい。また、施設全体としても利用者の要望・意見などを取り入れながら、さらに改善を図っていく必要がある。 (重視した点) 電気料が高騰するなかで収支が悪化するのではないかという懸念があったが、昨年と同等の納入金を市へ納めることができた。			
【評価委員会の総合評価】			
合計得点	77.3	評価ランク	B
評価委員会の講評			
道の駅に農産物直売所、レストラン、ファストフードを併設し、7.13水害のアーカイブとしての防災拠点機能も有していることから、当該施設はある種の複合施設といえる。コロナ禍が沈静化して多くの制約が緩和され、各施設が本来の機能を果たせる状況になり、かなり多くの人々が来場している。しかしながら、コロナウイルス感染症の影響はまだ残っているので、指定管理者は安全・安心に配慮しながら、できることを行動に移して施設を運営している。アンケート調査により、利用者からの意見、要望をしっかりと吸い上げ、クレームには可能な範囲で対処して、サービスレベルの向上に努めている。レストランをビュッフェ形式からフードコート形式に転換したことについて、利用者からは賛否両論の意見が寄せられているようで、今後については市側とも協議して方向性を決めていってほしい。他組織との協働、連携については、恵まれた施設環境を十分に活用して、より多くの市民、利用者が集えるような事業、イベントを企画してほしい。当該施設は市の2つの課が関係しているので、協働、連携については市側も積極的に関与するべきである。収支結果の黒字化が続いていることは、指定管理者の前向きな努力と強い責任感が感じられる。			

【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる。(合計得点が80点以上)
- B：総合評価の結果、優れていると認められる。(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、概ね適正であると認められる。(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる。(合計得点が30点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなり努力が必要であると認められる。(合計得点が30点未満)